

ROTARY WEEKLY

HIROSHIMA KUKO ROTARY CLUB WEEKLY



広島空港ロータリークラブ週報

会長 鶴田幸彦 / 副会長 乗越耕司 / 幹事 橋濱智美 / SAA 河井一郎

2016年6月15日発行

事務所 〒729-0417 三原市本郷南6丁目3-26番地 三原臨空商工会内2F

TEL 0848-86-0986 FAX 0848-86-0992 E-mail h.kukorc@vega.ocn.ne.jp

例会場 〒729-0416 三原市本郷町善入寺64-25 広島エアポートホテル TEL 0848-60-8111 FAX 0848-86-9222

JUN 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
例会 休会 京都旅行職場例会 例会 休会 最終例会

本日の例会（6月15日）

市川ガバナー補佐・武野公昭会員

次回の例会（6月29日）

最終夜間例会

2016年6月1日 例会記録

点 鐘…鶴田幸彦 会長

ソング…「君が代」「四つのテスト」

出席報告

	会員数 名誉会員	出席者	メイク	欠席 (免除)	出席率
本日 (6/1)	24 1	22 1	0	2	91.67
メイク					
前々回 (5/11)	24 1	18	3	3	87.5
メイク	熊谷、玉川、松本				

食事時間

MENU

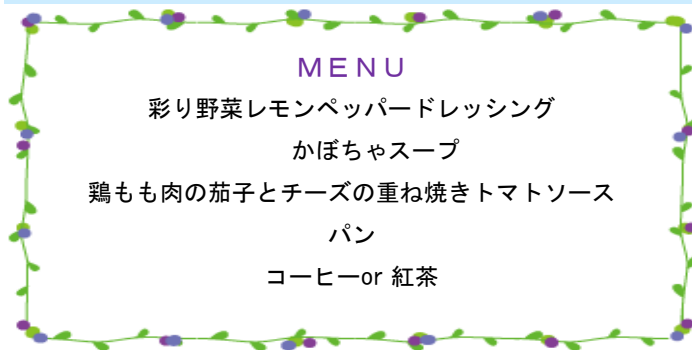
彩り野菜レモンペッパードレッシング

かぼちゃスープ

鶏もも肉の茄子とチーズの重ね焼きトマトソース

パン

コーヒーor 紅茶



楠部会員

5月31日は世界禁煙デーでした。この日から1週間日本では禁煙週間になります。もう一度禁煙について考える機会を持っていただくためです。

タバコは明らかな発癌物質であり、覚醒剤に劣らない依存性物質である事が少しずつ知られてきておりますが、国民の理解はまだ不十分です。日本では特に「たばこ産業保護法」という法律があり、「タバコの売上を伸ばしたいJTを国が後押しする」私から見ると暗黒の仕組みがあります。またタバコ税が市や町の財政を支える仕組みもあるので、タバコの有害性がなるべく国民に伝わらないようなマスキングがひそかに広がっています。

特に最近では、今日お配りしたチラシのように「受動喫煙防止」という事に焦点を当てられており、子供や若い女性にタバコを吸わせないという本来一番大切な事よりも、有害物質であるタバコの煙をどうやって子どもやタバコを吸わない人に吸わせないようにするかという事に注意が集中しています。タバコを吸う人の健康については無視されてきているように思います。

お手元に配布してもらったチラシは、受動喫煙防止対策をメインとして、広島県が今年の4月から始めたがん対策推進条例のチラシです。左側のタバコを吸う人も、右側の子供を含めた吸わない人も気持ちよく暮らせるようにという、吸う人を保護する印象を与えるチラシです。これこそJTがテレビコマーシャルでやっている分煙推進活動を県が後押しするような図柄になっています。公共施設では、本当は禁煙が当然だと私は思いますが、今度の条例では分煙でもよい事になっています。飲食店ではその店が禁煙店なのか分煙店なのかタバコ自由の店なのかを表示してお客さんに選ん

でもらう事が義務付けられています。そしてわざわざ「強制力を伴わない(罰則なし)義務」と書いてありません。


ロータリー会員の皆様の事業所でも、県がこの条例を伝達すべきところですが、このチラシを見られたことが皆さんありましたか？私には県にやる気があるようには見えません。

この1年に私の医院では、愛煙家に3人癌が出ました。2人は肺癌、もう一人の方は、胃の入口の癌でした。みんな手遅れでした。気の毒でなりません。まだ癌の出ない人でも高齢まで吸っている人は、多くが肺気腫になって息切れが強く、酸素を吸わなくてはいけない人も増えています。

タバコで体をこわしても、国は何の保証もしてくれません。タバコを吸う人は毎年是非がん検診を受け、心筋梗塞健診を受けて自らの身を守る必要があります。肺がんは見つかった時には手遅れの人が多いので、肺癌検診では、早期発見の為に胸部レントゲンだけではなくCTも是非受けていただきたいと思えます。

そして「受動喫煙で子供や吸わない人に迷惑をかけないよう、人の集まるところから7m以上離れて吸う事とを心がけていただくよう、お願いいたします。

店舗等の施設管理者のみならずへ



だれもがいつでも 気持ちよく!!

平成28年4月1日から、
がん対策推進条例の
受動喫煙防止対策
がスタートします!

条例が施行されると...

公共施設等では
禁煙や分煙が
義務化されます。

準備しましょう!

- 禁煙
- 喫煙所による分煙
- 空間分煙や時間分煙

飲食店等では
喫煙や分煙等の状況の表示が
義務化されます。

準備しましょう!

- ステッカー等での禁煙等の表示
- 分煙の場合は内容が分かる表示

※県民総ぐるみで取り組むこととし、強制力を伴わない(罰則なし)義務としています。

お早めの準備をよろしくお願ひします。

遊具のある公園や学校及びその周辺で
喫煙しないことが**努力義務**となります。

※受動喫煙防止に配慮された灰皿付近は除きます。

詳しくはウラ面または県HPをご覧ください。 広島県 なくそう受動喫煙 検索

広島県がん対策推進条例で平成28年4月1日から 受動喫煙防止対策が義務化・努力義務化されます。

たばこの煙には発がん性物質が含まれているため、
広島県は条例を制定し、受動喫煙防止対策を推進しています。

◆受動喫煙防止対策に係る対象施設の区分と規制内容の概要◆

区分	施設の種類(施設例)	規制内容	対象者	義務付け
建物内等 ※1	第1種 ○官公庁施設(県庁、市役所等) ○学校(幼稚園、小学校、中学校、高等学校等) ○医療施設(病院、診療所、保険薬局等) ○児童福祉施設(保育所、児童厚生施設等) ○公衆トイレ 等	①禁煙 ②喫煙所による分煙	管理者	義務 ※6
	第2種 ○運動施設(体育館・ホール等) ○高齢者・障害者施設(老人ホーム、身体障害者福祉センター等) ○大学等(大学、専門学校、各種学校等) ○博物館等(博物館、遊園地等) ○金融機関(銀行等) ○大規模小売店舗(百貨店、ショッピングセンター等) ○劇場等(劇場、興行場、集会場、展示場、斎場等) ○交通機関乗降・待合(JR駅、バス待合所等) ○交通機関(電車、客船等) 等	①禁煙 ②喫煙所による分煙 ③その他の分煙 ※2	管理者	義務 ※6
	第3種 ○飲食店 ○風俗営業を営む施設 ○物品販売店舗 ○カラオケボックス ○ホテル、旅館 ○理容所、美容所、公衆浴場 等	禁煙、分煙(分煙の内容)、喫煙、いずれかの状況の表示※3	管理者	義務 ※6
屋外	第4種 ○学校(幼稚園、小学校、中学校、高等学校等) ○児童福祉施設 ○遊具のある公園 ○停留所 ○横断歩道 ○これらの施設の付近の公道※4 等	区域で喫煙しない(灰皿周辺を除く) 灰皿は子供の受動喫煙防止に配慮※5	利用者 管理者	努力義務 努力義務

※1 不特定又は多数の者が出入りする室内等。
 ※2 ①禁煙 喫煙してはいけない空間とすること。
 ②喫煙所による分煙 禁煙区域への煙の流出防止措置(措置の内容は県規則に規定)がとられた喫煙所と禁煙区域に分けること。
 ③その他の分煙 空間分煙や時間分煙。
 ※3 「禁煙」「分煙(分煙の内容)」「喫煙」いずれかの状況を適切に表示していれば既存のステッカー等も可。県でも配布予定です。
 ※4 付近とは施設等から7m以内の公道です。
 ※5 灰皿を設ける場合は、子供の動線を選べる、遮蔽を設ける等の配慮が必要です。
 ※6 県民総ぐるみで取り組むこととし、強制力を伴わない(罰則なし)義務としています。

会 長 時 間



6月は親睦活動月間です。私は、親睦活動というのは、充実した奉仕活動を行うために、クラブ内で結束力を高めて、お互いに理解し合う活動とと思っていたのですが、どうもそれだけではなさそうです。

ロータリー親睦活動は、エスペラント語に関心を持っていたロータリアンによって、1928年に非公式に始まりました。そして、1947年にはボート愛好家のロータリアンのグループが、自分たちの船にロータリーの旗を掲げ、ロータリアンの国際ヨット親睦グループと名乗りました。現在、最も長く活動を行っているのが、このヨット親睦グループです。親睦活動の種類は、時を経るごとに増えてきており、現在60を超える親睦グループが国際ロータリーに登録されています。スキー親睦活動、アンティーク自動車親睦活動、ヨット親睦活動、写真親睦活動、キルトおよび織物手芸家親睦活動、スキューバダイビング親睦活動、自家用機パイロット親睦活動、カーリングキャンプカー親睦活動、鉄道愛好家親睦活動、ワイン愛好家親睦活動などがあります。

共通の関心事を利用して奉仕を行っている親睦活動グループも多くあります。例えば、カヌーの親睦活動グループは、河川の清浄プロジェクトを実施。コンピューターの親睦活動グループは、各会員の地元で、ロータリアンや一般の人々を対象にパソコン研修を行ってきました。また、スキューバダイビングのグループは、ダイビング目的の旅行先でロータリーの奉仕活動に参加しています。そのほかに、サイクリング親睦活動グループも、レクリエーションと社会奉仕を組み合わせ、サイクリングを通じて、国際理解と平和を推進することを目的としています。

ロータリー親睦活動は、このような親睦の下にロータリアンのつながりを築き、趣味や職業に関連した活動を楽しむ機会を提供することが目的です。共通の職業や関心を持つロータリアンとその配偶者、そしてローターアクターから成る国際的なグループで、各グループによって独自に運営されています。その会員は、ロータリー親睦活動を通じて楽しみを分かち合い、国境を越えた親睦を深め、親睦活動への会員の関心を維持するとともに、新会員を引き付け、いっそう充実したロータリーの経験を味わっています。

親睦活動のいいところ～すなわち、末永い友情を築くため、会員維持と新会員勧誘のため、異業種での情報交換のため、奉仕の新たな方法を見つけ出す為、私たちはクラブ内でも親睦活動を大切にしていきたいものです。

幹 事 報 告

《配 布 物》受動喫煙防止対策スタート チラシ
週報1031号・ロータリーの友
ガバナー月信・2016年規定審議会について
次年度活動計画用参考資料

《回 覧》東京麹町 RC より「想い出草」
平成 28 年度「禁煙週間」実施要項
財団 News2016 年 6 月号
会員名簿チェック表
最終夜間例会出欠表

日時 2016年6月29日(水)19:00～

場所 広島エアポートホテル

ロータリー財団創立 100 周年記念
第 3 回広島空港 RC 親睦ゴルフコンペ

日時 2016年7月10日(日)10:00集合

場所 白竜湖カントリークラブ

地区大会仮登録 10月29日(土)30日(日)

卓 話 時 間

次年度委員会別 活動計画 立案



財団 NEWS2016 年 6 月号より



ポリオプラス

【野生株によるポリオ症例数】

ポリオ	国	2016年1月1日 ～5月18日	2015年 (通年)	2014年 (通年)
常在国	パキスタン	10	54	306
	アフガニスタン	5	20	28
常在国 以外	ナイジェリア	0	0	6
	赤道ギニア	0	0	5
	イラク	0	0	2
	カメルーン	0	0	5
	シリア	0	0	1
	エチオピア	0	0	1
	ソマリア	0	0	5
	世界合計	15	74	359

【武田薬品工業がビル&メリンダ・ゲイツ財団から約40億円の助成金を受領】

2016年5月9日、武田薬品工業は発展途上国におけるポリオ撲滅を目指して、ビル&メリンダ・ゲイツ財団と事業提携契約を結んだことを発表しました。助成金として3,800万ドル(約40億円)を受け、セービン株不活化ポリオワクチンの開発および承認取得を行い、山口県光市の工場でポリオワクチンを少なくとも年間5千万本製造、70以上の発展途上国へ供給する計画です。

革新的なワクチン製造の基盤技術を強化し、安全かつ有効なセービン株不活化ポリオワクチンの開発を進め、承認を取得し、Gavi(Global Alliance for Vaccine and Immunization: ワクチンと予防接種のための世界同盟)の援助を受けている発展途上国に対し、ワクチンを入手可能な価格で供給する計画です。

ポリオ（小児まひ）のない世界へ

ポリオ（小児まひ）は、体がまひしたり、命を落とすことさえある病気です。国際ロータリーでは、資金集めをしたり、ワクチン投与をしたり、長年にわたって、ポリオの撲滅に取り組んできました。1979年9月、国際ロータリーは、フィリピンで、生後3か月から36か月の子ども約600万人に対して、5か年計画のポリオ免疫活動を始めました。これが、ロータリーがポリオ撲滅に取り組んだ第一歩です。1985年、「ポリオプラス計画」を発表。1988年、国際ロータリーは、世界保健機関（WHO）、ユニセフ、アメリカ疾病対策センター（CDC）とともに、世界ポリオ撲滅推進計画（GPEI）の発足に携わりました。2007年11月、国際ロータリーは、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団と協同して、世界ポリオ撲滅に必要とされる2億米ドルを投入することを発表。ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団が正式にポリオ撲滅に参加することになりました。現在も野生のポリオウイルスによる感染が続いている国は、アフガニスタン、パキスタンの2か国となりました。しかし、国境を超えて人が行き来をする現代、ほかの国にもウイルスが流入して感染が広がる可能性があるため、完全な撲滅まで、予断をゆるさない状況です。

国際ロータリー会長 母の思い出とポリオについて語る

韓国で2016年6月1日（水）に開催されたロータリー国際大会の最終日、K.R.ラビンドラン国際ロータリー会長が、30歳でポリオに感染した自身の母親について、KINTEX 会議場（韓国、高陽市）を埋め尽くした聴衆に語りました。

母親がポリオに感染したのは、ラビンドラン会長が11歳だったときのこと。母国スリランカで、ある朝に目覚めた母親は、体のだるさと息切れを感じました。座ろうとすると、足が動かないことに気づきました。ポリオウイルスがあつという間に神経系を侵し、足がまひしていたのです。

すぐさま入院し、呼吸をするために「鉄の肺」に入れられました。医者からは、もう二度と歩くことも、人口呼吸器なしに生きることもできないかもしれないと告げられました。しかし、1963年当時のスリランカには、人口呼吸器を備えている病院はありませんでした。

母親が入院した日の晩、ロータリー会員だった祖父は、自宅の居間でクラブ委員会の会合を開きました。仲間の会員たちは、ただなぐさめる代わりに、仕事の知識や人脈を生かして、人口呼吸器を確保するためにすぐさま行動を起こしました。銀行マネージャーだった会員は、政府の高官に電話をして、すぐに海外に送金できるよう計りました。スイス航空のマネージャーだったもう一人の会員は、人口呼吸器を輸送する手はずを整えました。こうして、翌日には人口呼吸器が病院に届いたのです。

「当時のスリランカでは何もかもお役所主義でしたが、ロータリアンたちはこれを取り払ったのです」と、会長は振り返ります。母親の入院生活は1年半続きましたが、徐々に回復し、退院時には歩行器を使って自身の足で歩くことができました。

「53年前、おそらくロータリアンによってポリオから命を救われた最初の一人が、私の母だったのでしょう。以来、私たちは何百万という人の命を救ってきました」とラビンドラン会長。「今晚、母の息子として、そしてロータリーの会長として、皆さまの前に立ち、ロータリーが“ポリオのない世界”という永遠のプレゼントを贈る日が近づいていること、しかもそれは、数年先ではなく、数カ月先かもしれないということを申し上げます」

前日の本会議では、米国疾病対策センターのレベッカ・マーティン氏も「**ポリオ撲滅が非常に近づいている**」と述べました。この本会議の前には、ロータリーが3500万ドルの追加補助金をポリオ撲滅活動に投入しました。

ロータリー史上最高となる43,000人の出席者を記録した今国際大会では、150カ国以上から人びとが集まりました。ラビンドラン会長は、会長として最後のスピーチで、ロータリアンであることの真の意味は何なのかを強調しました。

「この地球上には、皆さんの懸命な努力のおかげで、より良い人生を送れるようになった人が大勢います。その人たちが私たちの存在に気づいていなくても、私たちの名前さえ知らなくても、それは問題ではありません。大切なのは、皆さんの活動が人びとの人生に触れ、それによって人びとがより健康で幸せになったことです」